



令和6年10月11日

各位

会社名 アクサホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 久岡 卓司  
(東証スタンダード市場・コード3536)  
問合せ先 取締役経営管理部長 新藤 達也  
(TEL. 078-391-4000)

### 通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和6年10月11日開催の取締役会において、令和6年8月期決算短信発表時（令和5年10月13日）に公表した令和6年8月期通期（令和5年9月1日～令和6年8月31日）の連結業績予想及び期末配当予想を修正することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 令和6年8月期通期の連結業績予想数値の修正（令和5年9月1日～令和6年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 12,386	百万円 411	百万円 280	百万円 260	円 銭 8.57
今回修正予想(B)	11,718	14	△102	31	1.03
増減額(B-A)	△668	△396	△383	△228	
増減率(%)	△5.4	△96.5	△136.4	△87.9	
(ご参考)前期実績 (令和5年8月期)	11,064	183	33	1	0.03

#### (修正の理由)

令和6年8月期においては、売上高につきましては、為替市場の歴史的な円安の長期化やロシア・ウクライナ危機を起因とした原材料及び資源価格の高騰等により生活必需品の値上げが相次ぐ等、消費者の体感インフレが高まっている影響により、前回業績予想と比較して売上高の減少が見込まれております。

利益面につきましては、小売事業において、人口減少エリアにおける需給バランスの変化に伴い、飽和市場となっている地域の施設については、同地の不動産市況も鑑み、現状の収益と不動産賃貸事業へ転換した場合の収益の将来キャッシュ・フローを比較検討し、不動産賃貸事業への転換がより合理的である施設については、小売事業における地域社会への一定の貢献は果たしたものと判断し、同施設の不動産賃貸事業への転換を図ることにより安定した賃貸収入確保への切り替えに取り組んでおり、当連結会計年度につきましては対象となる店舗の閉店セールを実施したことにより売上総利益が減少しております。また、輸入卸売事業において、為替市場の中長期的な円安傾向に対し、アセアン諸国を中心とした輸出事業への取り組みを開始しておりますが、当連結会計年度につきましては長引く円安の影響により仕入コストが上昇したことにより売上総利益が減少しております。

営業利益につきましては、上述の売上高の減少の影響や長引く円安の影響による仕入コストの増加、また閉店セールの影響による売上総利益の減少等により、前回業績予想と比較して営業利益の減少が見込まれるため下方修正いたします。

経常利益につきましては、上述の営業利益の減少が見込まれることより、前回業績予想と比較して経常利益の減少が見込まれるため下方修正いたします。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別利益に不動産売却に伴う不動産売却益の計上はあるものの、上述の売上高の減少及び仕入コストの増加や閉店セールに伴う売上総利益の減少の影響等により、前回業績予想と比較して親会社株主に帰属する当期純利益の減少が見込まれるため下方修正いたします。

## 2. 期末配当予想の修正

	年 間 配 当 金				合 計
	第 1 四 半 期 末	第 2 四 半 期 末	第 3 四 半 期 末	期 末	
前 回 予 想 (令和5年10月13日発表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 4.00	円 銭 4.00
今 回 修 正 予 想	—	0.00	—	2.00	2.00
当 期 実 績	—	0.00	—		
前 期 実 績 (令和5年8月期)	—	0.00	—	4.00	4.00

### (修正の理由)

期末配当については、1株当たり4円00銭（普通配当2円00銭、特別配当2円00銭）を予想していましたが、「1. 令和6年8月期通期の連結業績予想数値の修正」により通期業績予想の下方修正を見込んでいるため、株主の皆様には大変申し訳ございませんが、期末配当予想を1株当たり2円00銭（普通配当2円00銭）とさせていただきます。

(注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の配当額は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上